

「化学物質と環境」に関する 化学企業の取り組み

平成13年12月3日

「化学物質と環境」円卓会議

瀬田 重敏

(旭化成株式会社)

(日本化学工業協会・広報委員長)

化学と社会との関わり

1. 環境問題に対する化学企業の取り組み
2. 化学企業が進める環境保全活動
3. 情報共有と相互理解：化学企業からの努力

1. 環境問題に関する化学企業の取り組み

- 過去のある時期、公害問題の原因
- 深刻な公害問題に直面して以来、化学企業はその解決、予防に真剣な目を向けてきました
- 環境安全投資、研究費を含め、大きな資源を投入
- その結果、成果も上がり、一方では日本が世界に誇る公害防止技術、環境保全技術を開発

- 現在の化学企業は、今や「環境に関する明確な認識」を大前提にして事業活動を行っています
- 化学企業は、ある時期から、「環境・健康・安全」を根本的に見直す、新たな認識と理念の時代に入ったと行うことができると思います

2. 化学企業が進める環境保全活動

- RC(レスポンシブルケア)
化学物質の**取り扱い**において、
「ゆりかごから、リサイクルを経て墓場まで」
の全ライフに亘ってのトータルの環境負荷を
最小にする**自主管理活動**
- GC(グリーンケミストリー)
化学物質並びに生産技術の**開発**において、
開発される製品の全ライフに亘ってのトータ
ルの環境負荷を最小にするための**研究開発**

RC、旭化成の例

(旭化成RC報告書2001)

活動状況(1) RC活動 (p.2 - 6)

- ・旭化成グループ、百数十事業場
(工場と研究所)
- ・共通のルール(RC管理規定)
- ・毎年、全社方針、全社目標を設定
- ・各工場が各目標にチャレンジ
- ・ISO(9001、14001)、その他の国際管理システムを導入して、RC活動を体系的に推進

RC活動状況(2) 全社活動 (p.7 - 8)

- 1) 社長出席のもと、「全社の環境負荷低減に関する当年度方針・目標」を設定
- 2) 全社RC委員会で承認
- 3) 各事業単位で、目標と実行計画を設定、1年後実施結果を集約して報告
- 4) 各事業単位の活動を3重で社内監査、全社結果を集約し、再びRC委員会に報告
- 5) 結果を吟味、次年度の目標設定へ

活動状況(3) RC報告書の編集 (p.13-18)

- 1) 各工場のデータ集約
- 2) 全社150-200人がある時期かかりきり
- 3) RC報告書の編集
- 4) 社外監査:「第三者検証意見書」

社外監査

- 1) 監査法人から本社に6名、3日間訪問調査
- 2) 工場に2-3人の人が3-2日、訪問
- 3) 環境担当重役も1時間半のインタビュー
- 4) 「第三者検証意見書」 (p.48)
- 5) 来年からはJRCCでも監査を開始

この他に

環境安全設備投資を、過去30年で累計
1200億円、毎年平均40億円を投入

(旭化成RC報告書2001、p.19)

そしてこの環境安全設備投資とほぼ同額
の環境安全用人件費を投入

これと平行して、環境安全に関する社内、
地域、国際的活動を実施

- こうした環境安全に関する全社を挙げての努力は、旭化成に限らず、多少内容の違いはあれ、化学企業のどこでもやっていること

GC(グリーンケミストリー)

- 日本では、GSC(グリーン・サステイナブル・ケミストリー)と呼称
- 化学物質並びにその生産技術の開発において、開発されるものの全ライフに亘っての環境負荷を最小にするための研究開発

グリーンケミストリーの要件

- 廃棄物をなるべく出さない
- 原料をなるべく無駄にしない
- 人と環境に害の少ない製品
- 環境と経費への負荷小、省エネ
- 再生可能資源をなるべく活用
- 反応のシンプル化
- 化学事故につながりにくい物質を使用

グリーンケミストリーの活動

- 国際的活動
- 産学官の大半の研究者がめざしている化学
- 日本はリーダー役、先駆的存在
- 国際シンポジウム
- ノーベル化学賞の野依教授の理想はGC、GC活動における日本のリーダーの一人

3. 情報共有と相互理解 化学企業からの努力

- 1) 化学の貢献:「利便性」か「文明の基盤」か
- 2) こうした化学の社会への貢献、上記の化学企業の努力がなぜ社会に理解されないか
- 3) 理由の1:「化学」を説明するのは結構難しい
- 4) 他の理由:それでも
「化学企業は、自分達の努力を、社会に対してわかりやすい形できちんと説明してきたか」
という反省

- 今回、大変よい場をいただきました
- 市民の皆様からのご指摘があって改善に成功してきた例は過去にも沢山あります
- 規制より自主活動の方が、企業は高いハードルを設定 自由意志により効果は大
- 化学企業は、真摯に、真っ当に、真剣に努力します

- 今できること
- 今後共更に努力すること
今後一層、
「環境健康安全に最大限の努力を払う」
ことをお約束します